

企 画 部 地 域 政 策 課

1 中心市街地活性化関係

(1) 中心市街地活性化基本計画関係

ア 中心市街地活性化基本計画の推進

「米子市中心市街地活性化基本計画」の推進について、下表のとおり会議を開催し検討を行った。

会 議 の 名 称	開催回数 (回)
米子市中心市街地活性化推進本部会議	1

イ 米子市中心市街地活性化基本計画の策定

平成26年9月に、2期米子市中心市街地活性化基本計画を策定した。

計画期間 平成26年4月～平成31年3月

ウ 都市再生整備計画の事後評価

平成22年度に策定した都市再生整備計画（計画期間平成22年度～平成25年度）の事後評価を実施した。

(2) 中心市街地活性化協議会への支援

ア 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支持するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会事務局運営費負担金 1,364,280円

(3) 中心市街地活性化事業の推進

ア 中心市街地活性化情報発信事業

(ア) まちなかを巡るモニターツアー事業

中心市街地の魅力を発信してもらうため、情報発信力の強い地域のブロガーを招いて、年3回モニターツアーを開催した。

夏 平成26年6月26日開催 モニター5名 記事8本

冬 平成26年12月19日開催 モニター6名 記事8本

春 平成27年3月25日開催 モニター5名 記事15本

(イ) まちなかなう事業

本市のホームページに「よなご まちなかなう ～まちなか特派員報告～」のコンテンツを作成し、個人ブログで本市の中心市街地等に関する記事を発信している方を、「まちなか特派員」として13名を任命し、本市のホームページから各特派員のブログにリンクを張り、特派員自らのブログを通じて中心市街地エリアの見どころ、まちなかの楽しさやにぎわいの様子などの発信に取り組んだ。

平成26年4月1日～平成27年3月31日 記事460本

2 基地対策関係

(1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

(2) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総 会 平成26年8月28日

3 米子空港滑走路延長（2,500メートル化）関係

米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は8月28日の地元協議会において、取組み状況と地域振興計画の進捗状況等について、説明と報告を行いました承された。

4 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区 分		路線数	補助額（単位；円）
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	6 30,466,550
		県補助対象路線（広域路線）	7 21,483,160
		単市補助対象路線（市内完結路線）	9 22,864,750
合 計		22	74,814,460

日本交通株式会社

区 分		路線数	補助額（単位；円）
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線（広域幹線路線）	2 8,686,396
		県補助対象路線（広域路線）	3 13,892,051
		単市補助対象路線（市内完結路線）	6 13,868,858
合 計		11	36,447,305

(2) 米子市循環バス（愛称「だんだんバス」）運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト 市内中心部（米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅）での一方向周りの循環運行

運行回数 平日21便、土・日、祝日19便（始発8時～終発18時：30分間隔）

使用車両 市所有のノンステップバス（34人乗り）2台

停留所 32箇所（市が設置）

料 金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

回数券 150円券11枚綴り 1,500円 100円券11枚綴り 1,000円
50円券11枚綴り 500円

運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運賃経費から運行収入を控除した、いわゆる赤字額（26年度；13,465,189円）を市が補填した。

利用者数 総乗車人員123,599人

一日平均339.6人、一便平均16.7人（幼児を含む）

(3) 米子市淀江町巡回バス（愛称「どんぐりコロコロ」）運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト 便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、イオン日吉津店等を巡回（1便あたりの所要時間 15分～55分）

運行回数	平日・土曜10便、日、祝日運休（始発8時5分～終発15時54分）
使用車両	バス事業者所有のワンステップバス（35人乗り）1台
停留所	52箇所（市が設置）
料金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
回数券	150円券11枚綴り 1,500円 100円券11枚綴り 1,000円 50円券11枚綴り 500円
運行方法	市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除したいわゆる赤字額（26年度；8,930,543円）を委託料として支払った。
利用者数	総乗車人員9,363人、 一日平均31.6人、 一便平均3.2人（幼児を含む）

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

構成	学歴経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表6名、 運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員1名 計15名
開催日	第1回 平成26年8月12日 第2回 平成27年2月25日

5 鉄道関係

- (1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に参画した。
- (3) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。
- (4) JR淀江駅前公衆便所の維持管理

6 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市との共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境港米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) ANAについては、平成26年4月1日から平成26年5月31日、平成26年10月1日から平成27年3月28日の間、米子ー東京線が1日6往復12便化となった。
- (3) スカイマークについては、平成26年4月1日から羽田線（2往復4便）、新千歳線（1往復2便）、那覇線（1往復2便）が就航した。

平成26年10月26日から直行便の成田線・羽田線・新千歳線が運休し、羽田線（神戸乗継2往復4便）、新千歳線（神戸乗継1往復2便）、宮古線（那覇乗継1往復2便）、石垣線（那覇乗継1往復2便）が就航した。

平成27年2月1日から神戸線（1往復2便）となり、神戸経由便の茨城線、神戸乗継便の新千歳線が運休となった。

平成27年3月29日から神戸乗継便の羽田線、那覇乗継便の宮古線、石垣線が運休となった。

(4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。

ア 国際チャーター便

平成26年7月12日～8月23日 チャイナエアラインによるプログラムチャーター便の就航

平成26年10月 アシアナ航空によるチャーター便の就航

平成26年10月、11月 チャイナエアラインによるチャーター便の就航

平成27年3月 AAAによるチャーター便の就航

平成27年3月 香港航空によるプログラムチャーター便の就航

イ 国内チャーター便

平成27年1月、2月 スカイマークによるチャーター便の就航

ウ キャンペーン活動

「空の日」の記念行事として行われる「米子空港まつり」を平成26年10月25日に関係団体とともに開催するなど各種キャンペーン活動を実施した。

エ 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR

鳥取県と連携し、東京便及び新規路線旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。

(5) 平成26年度の米子空港利用者数は、国内線が81.7万人、国際線が3.8万人、合計85.5万人であった。

7 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

8 水源対策関係

(1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 56,735,738円

イ 水道事業補助金 5,746,170円

(2) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 3,980,217円

イ 水道事業補助金 1,459,469円

9 高等教育機関連携事業

(1) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校の発展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校振興協会の活動に対し、引き続き協力を行った。

平成26年度振興協力会活動内容

ア 講演会・技術交流会

イ 産官学連携推進のための調査研究支援

ウ 共同研究支援

(2) 高等教育機関との連携の強化

鳥取大学と県内四市連絡協議会をとおし、鳥取大学との連携を図った。

鳥取大学の「地（知）の拠点整備事業」の3件の地域志向研究に推薦書を交付した。

鳥取大学と「ムカカ対策事業」に関し米子市環境政策課との連携体制の構築に向け調整をした。

10 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：平成26年10月22日、平成27年2月19日